

〒260-0031 千葉県千葉市中央区新千葉2-17-6

サンコート新千葉102号

E-mail:kidchiba@lily.ocn.ne.jp

TEL:043-301-7262 FAX:043-301-7263

発行責任者：特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター

2024年7月10日発行 第106号 1部100円 <https://chiba.gekijou.org/>



県や市町村行政と連携し、理念実現のために実効ある事業を提案して、NPOとしての使命と役割を果たそう！

「子どもまんなか・ウェルビーイングな生活を送ることができる社会の実現のために」



■令和5年、国は「子どもの権利条約」の理念や条文を盛り込んだ「子ども基本法」を施行しました。「子ども基本法」が目指す「子どもまんなか社会」の条文の冒頭に「全ての子ども・若者が、日本国憲法、子ども基本法及び子どもの権利条約の精神にのっとり…」

とあり、これまで曖昧にされてきた「子ども」の社会的な位置が、法律によって明確にされました。国・地方自治体・NPO・国民のすべてが、これらを共有し、子どもに関わる決定や、判断をしていくこととなります。大人社会が大いに試され、本気度が問われることとなります。

■また、『子ども大綱』（12月閣議決定）には「心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、ひとしくその権利の擁護が図られ、身体的・精神的・社会的に将来にわたって幸せな状態（ウェルビーイング）で生活を送ることができる社会」と書かれています。子どもや養育者の声を聴いて、施策等に反映させることを求める「子どもまんなか社会の実現」に向けて大きく舵を切り、県・県内市町村でも「子ども計画」策定が始動しています。

■子ども劇場千葉県センターでは「子ども基本法」の理念に賛同し(1)子ども・若者が権利の主体であることの社会全体での共有 (2)多様な遊びや体験、活躍できる機会づくりを、NPOとして、県・市町村行政と連携し、事業を通じて理念の実現にかかわって参ります。

■子ども劇場千葉県センターの事業は、すべて「子ども基本法」の理念に叶った事業です。

「チャイルドライン千葉」や「ママパパラインちば」は、子どもの声や養育者の声を共感的に聴く事業で「誰にも言えない、胸の内に押し込めていた本音」を聴かせてくれます。その声を受け止める最前線に傾聴ボランティアの存在があります。そして、当事者の置かれた現状を変えるべく社会に発信し、課題解決につながる事業づくりに活かしています。

■「子どもらしい表現の機会をすべての子どもたちに」と、団体正会員と共に、学校、児童福祉施設、子育て支援センター等で、文化芸術体験事業を継続して実施しています。自己表現や楽しい気持ち、困った気持ちもパフォーミングや友達、周りの大人に受け止められ認めってもらうことで、子どもは自然と笑顔になり、自己肯定感の向上や生きる力につながっています。

■文化芸術活動の公益性が、愛着形成や非認知能力を育てる子育て支援、児童生徒の生きる力を応援する事業で実証され、どの年齢にも必要かつ期待される事業となっています。主体的な遊びと体験の機会をさらに充実するため、当団体から事業企画提案をし、県・市町村の行政施策へ活用を働きかけます。団体正会員をはじめ、地域団体との連携協力が重要となっていくます。地域の皆様、是非、一緒に子ども・子育てを応援していきましょう。(理事長：宇野京子)

2024年度(第27年度)

通常総会終了

日にち：2024年6月13日(木)
時間：13時10分～15時30分
場所：千葉市民会館特別会議室2
正会員総数：46名
出席者数：出席 37名 委任 9名
すべての議案が全会一致で承認されました。

■2年間の事業の重点課題として、全ての事業に、子どもの権利条約の理念と子ども観を入れ込んでいくことが確認されています。

2024年度の事業計画

●文化芸術を活用し、子ども自身の自己肯定感・非認知能力を獲得する活動

①文化庁受託令和6年度学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業

②子どもゆめ基金助成事業

●文化芸術を活用し行政・地域連携の子育て支援活動

①チャイルドライン千葉

②ママパパラインちば

●子どもや養育者に寄り添い「傾聴」による当事者を支える活動

●文化芸術を活用し行政・地域連携の子育て支援活動

●文化芸術を活用し行政・地域連携の子育て支援活動

●文化芸術を活用し行政・地域連携の子育て支援活動

子どもの発達とこころの世界

講師 磯邊 聡さん

千葉大学教育学部准教授

専門はカウンセリング、臨床心理学

日時：2024 年 6 月 13 日(木)10:30~12:00

会場：千葉市民会館

参加者：65 人

千葉大学で教員として、また、千葉市内の中学校に週 1 回スクールカウンセラーとして教育現場に関わっておられる磯邊先生をお招きして、子どものこころの発達から様々な宿題があることや、どう関わっていけばよいのか、たくさんヒントをお話し頂きました。わかりやすい数々の素敵な言葉と、ヴォーカルコミュニケーションを使った声での伝え方が、心地よく胸に染み、今後、子ども・養育者対象の活動づくりに活かす学びがたくさんありました。



学び その 1

こころの発達と変化 〜エリクソンの発達課題から〜

私が子どもたちを見る時、特に「こころの発達」というところをよく見ます。実年齢と関係なく、この子はどんなこころの宿題を抱えているのかを見て、関りを始めています。エリクソンの発達段階説を私なりに翻訳しながら皆さんと共有して、皆さんの周りにいる子どもたちが、どの段階のこころの宿題を背負っているのかを理解して、関わるヒントにできたらいいなと思っています。

①基本的信頼感

乳幼児期（生まれてから一歳ぐらい）
この世界は安全だ、自分は生きていていいんだ。

一番最初に、こころのランドセル*に宿題が届くのは赤ちゃんです。基本的な信頼感を獲得するには、やっぱりお母さんによるケアです。お腹がへったらおっぱいを、オムツが汚れたら取り替えてくれる。嫌な時に泣いたら、お母さんがききとって取り除いてくれる信頼感。

逆にお母さんが上手にケアできなかった、あるいは虐待環境や育ちの中で様々な被害を受けてしまうと、自分が生きるに値しないとか安心できていないで、大変な宿題をランドセルに抱えてしまいます。例えば、みなさん活動する中で、一人ぼつんと友だち関係がうまくいかなくて、落ち着いていられない子どもの一部の中には、この基本的信頼感がつくられない子どもがいるかもしれないので

みんなの中に入って仲良くしなさいと言うよりも、まずは、一対一の安心安全な環境を作ってあげることがとても大事になります。私の経験から、幼児期の一番最初に獲得するはずのこころの宿題を持っているケースは、年齢を問わず意外と多いと思っています。

②自律性

幼児期（一歳から三歳）

ボク（ワタシ）の身体はボク（ワタシ）のもの。思うとおり身体を操れるぞ！

自分の身体を自分の思うとおり動かすことがすごく大切です。危険にさらされなく行うことで、「自分の身体は自分のものだ」ということを体験します。親御さんやパワーを持った方が、過剰なコントロールでそれを食い止めると、「本当は自分の身体なんだけど、動かしてはいけないんだ」というふうに、阻害されてしまうことが起こります。思いつきり自分の身体を動かして「あーおもしろかった！」「こうやったら出来るぞ！」というような体験が、自信や自己肯定感につながっていきます。

③自主性

小学校就学前期（三歳から六歳）

これ、やってみたいなあ、よしやってみよう！

子どもの中から「これやりたい！」「自分がこれを始めたい！」と言い出す、これがすごく大事です。失敗にめげずに果敢に取り組みます。新たな運動能力をもっと

どんどん発揮しようと思います。

親御さんがその時に危ないからダメよって禁止すると、「これやってみたい！」が出てこなくなってしまうです。ちよっと危険も覚悟の上でやらせてあげることがすごく大切です。時にはやらせてもらえない気持ちが強くて、今度は攻撃性として出てくることもあります。でもそれでもすごく大事なことだと思います。周りの大人からダメ出しをされると、「自分はダメなんだ」という気持ちになります。カウンセラーをやっていると、子どもたちからこの言葉が出てくると要注意ですね。子どもたちがどう感じているのかとか、何をしたいかという気持ちを育んでいくことです。

*こころのランドセル：年齢に応じてこころの宿題がランドセルに入ってくる。それが未解決でも、次の年齢になると別の課題を背負っていくという意味

④勤勉性

学童期（六歳から十二歳）

自分も大事だけど、みんなで協力してこつこつやる達成感もいいなあ

小学校に入ると、みんなとの集団行動が多くなります。その時にみんな協力して力を合わせてやることができるようになってきます。社会性の獲得です。

世界の中で自分が一番だっている経験をしたくないと負けることができないわけですね。集団行動の中で譲ることができません。自分が世界の中心で、「僕は生きていて大丈夫」という経験ができると、負けることができるようになります。

⑤同一性 青年期（十三歳から二十歳）

色々な自分があるけど自分は自分なんだなあ。安定して連続して、まとまっているなあ。

いわゆるアイデンティティ。中学校から高校、大学の入り口ぐらいまでの子どもたちの心の宿題です。同一というのは、昨日と今日の自分が同じであるという感覚。いろんな自分がいて、今いる自分も一つのまとまりになっている感覚。第二次性徴が始まり身体と心が大きく変わります。変わっていく自分をもう一度立て直すために似ている子が集まります。自分が確認出来ないから異質な子が入ると許せなくなってしまう。それが時にいじめのように思えることもあるのですが、必死に今自分はこういう子なんだろうというのを、似た子から探し、自分のことを一生懸命確かめようとしている、そんな時期になります。

ご両親が最初は子どもにとっての大人のモデルなのですが、だんだん親のモデルから離れていき、いろんなモデルに出会うようになります。その時に皆さんのような新しい大人が現れて、新しい価値観とか、新しい生き方を紹介することも、すごく大事なことだと思っています。

そして私たち援助者が元気でないと、子どもたちや保護者も元気になれないのです。いっぱい雑談をすることで、こころが緩んでエネルギーが貯まります。子どもたちがその子らしく生きて、元気が出てくるのが、私たち支援者の目標になります。

（文責：棚田）

学び その2

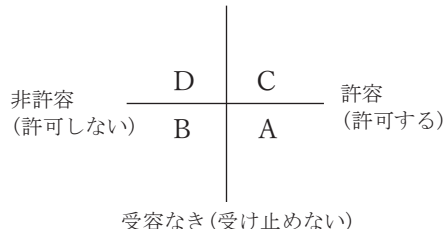
子どもとかわる ヒント

①「受け止めること」と「許すこと」
その人のいいところも悪いところもその人の一部

・受容（受け止めること）↓気持ちや存在を受け止め、受け入れること
・許容（許すこと）↓行動や要求を許すこと
・受け止めるけど許可しないという姿勢も大事（D）



受容に基づく（受け止める）



A 受容なき許容

相手を理解し受け入れることなく表面的な行動を許容すること。
（対応）
「じゃあ好きにしてください！」「これさえすれば〇〇してくれるのね」「これを認めてあげたらいいのね」

B 受容なき非許容

相手を理解し受け入れることなく、表面的な行動を認めないこと。
（対応）
「そんなこと無理じゃない！」「何を勝手なこと言っているの！」「バカを言うんじゃない！」

C 受容に基づく許容

相手を理解し受け入れた上で、表面的な行動を許容すること。
（対応）
「確かに今の君にはそれが必要だね」「わかった、そうだねやってごらん」

D 受容に基づく非許容

相手を理解し受け入れた上で、表面的な行動を認めないこと。
（対応）
「言っていることは分かるけどそれはダメ」「なるほど。でもやっぱりそれは認められないよ」「本当だね。それができたらいいね。でも無理なんだよ」

②「児童期は目を離すな」「思春期は心を離すな」
大事なものは、転ばないことじゃなくて、転んだと泣きながら自分で砂をはらって立ち上がる

《子育て四訓》

- 1 乳幼児期は肌を離すな
- ・肌のふれあうスキンシップ
- 2 幼児期は手を離すな
- ・親と繋がっている安心感
- 3 児童期は目を離すな
- ・親が関心を持ちながらも子どもに任せてみる
- 4 思春期は心を離すな
- ・子どもを信頼し、見守るという姿勢も大切

③「自分で立つて歩ける大人に上手に悩めるように心の筋肉をつけよう！」

- ・トラブルは、成長（心の筋肉）をつけるための「応用問題」
- ・自分の問題を自分で解決できるような手助けを

・どこまで見守り、どこから手を貸すか
・子どもの手に負えないときが、親や大人の出番

④自分を好きになり、いろいろな〇を見つけられる言葉かけ
その子のいいところを見つけて肯定文を使った言葉かけ

- ・自分の価値やよいところを見つけられるような関わり
- ・将来のイメージがふくらみ、いろいろな〇が発見できるような関わり
- ・子どもが「自分らしく」いけられる

参加者アンケートより

・エリックソンの心の発達に沿って説明してくださったとてもわかりやすかったです。自分が①でつまづいていたことがわかりました。まだ課題を解決できていないかもしれませんが、息子に宿題を背負わせないよう、学びながら子育てをしていきたいと思っています。

・磯邊先生のお話から私たちが活動していく上で大切にしていること、雑談や「元気で」「自分らしく生きられる」と、そのためには私たち自身も元気で、自分らしく生きることが大事。改めて大切にしていこうと思いました。

・受け止めるけど許可しないという姿勢がどういふことか納得しました。心の筋力をつけることや大人のセルフケアが大事だとわかりました。

千葉市



「千葉市子ども基本条例」は、すでに素案ができています。千葉市子ども企画課のホームページに、条例検討委員会の議事録がアップされています。「子どもの意見表明と参画」という章をきちんと条例の中に位置づけています。 (仮称)千葉市子ども基本条例ホームページ 検索 ※4/14「子ども人権ネットちば」学習会での、千葉市条例検討委員会委員、田村光子さん、村山直さんの会場発言より記載しています。

子ども・若者・養育者のアンケート実施

小学1～3年生(2,500名) 4～6年生(2,600名) 中学生から18歳(3200名)、19歳～29歳(70名)、養育をしていない30歳以上の人(156名)、子どもを養育している親(13,000名)、子ども若者に関する施設職員(2017名)・・・累計23,610件のアンケート回答をデータ化しました。(回答結果は「千葉市子ども企画課」のホームページに掲載中)

★子どもコミッションの委員の設置を切望★

子どもにどんな権利があるのか、行政や施設、それから地域がどういう風に子どもたちの権利擁護をしていかなければならないのか、最後に、権利救済機関をどう置くのかという辺りを担当している。(権利保障部会委員の村山直弁護士)

- ① 子どもが学校入る前から権利のことを知り、それを行使する機会を設けたい。
- ② 大人が子どもの権利のことを知らないことを痛感している。知る機会をつくりたい。
- ③ 相談と権利救済機関を保障することを絶対入れてほしい。

公開シンポジウムの開催

実際、シンポジウムで子ども、若者たちに聞くと、カウンセラーに話を聞いてほしいとかではなく、日常の自分の生活を知っている身近な人に話を聞いてほしいけれど、大人は忙しいんだよねっていうことを子どもたちは常々言っていて、大人に配慮しながら生活をしている子どもたちが本当に多い。その声を聞いてあげられる社会にどうしていくのか、そこを条例にしていきたい。



全国の先進的な市町村の事例



4 東京都豊島区
「豊島子ども大学」「としま子ども寺子屋」「スキップ子ども会議」等、子どもの社会参加を促すための場づくりが進んでいる。市職員がファシリテーターに。

3 山形県遊佐町
中高生が有権者となり、選挙で少年町長及び少年議員を選出。少年議会において、独自予算(45万円)で政策を立案、実現させている。

2 宮城県石巻市
子どもが企画・デザインして石巻市子どもセンター(児童館)を再建、運営。指定管理者制度の導入において子ども委員を設置し、選定に子どもの意見を反映。

1 北海道ニセコ町
子どもの視点でのまちづくりと子どもたちの参加を目的に「小学生・中学生まちづくり委員会」「子ども議会」を設置し、子どもの意見反映に取組んでいる。

令和4年度、子ども家庭庁準備室が行った「子ども施策の決定過程における子どもの意見反映のプロセスのあり方に関する調査研究」に全国の先進的な自治体の取り組み事例があります。※報告者…竹中大剛さん

恒常的に子どもの声を聴く「しくみ」がない、行政課題が見つかった！

県・市町村での「子ども計画」策定がはじまっています！

流山市



～子どもの声を聴くために 各行政で工夫と知恵を出し合う 模索が続く～

流山市は策定の真っ最中です。「子ども若者支援計画」と「子供貧困対策計画」も合わせて、「子ども計画」の中にしっかりと位置づけて施策を展開していこうと考えているところです。昨年度から子ども子育て会議をずっと継続してやっており、今年度、色々な意識調査・ニーズ調査を、今後展開していく流れになっています。※この掲載記事は、4/14「子ども人権ネットちば」学習会記録からの抜粋です。報告者：竹中大剛さん(流山市子ども家庭部・部長) 文責：岡田 中村

★計画の胆：子ども・若者からの意見をどう聴取するか？どう施策に反映するか？★

子ども・若者から意見募集

「子どもまんなか社会」の実現と、今を幸に楽しく過ごすことができるようなアイデアや、子ども・若者、子育てに関する取組等の意見を、市内の在住の小学生、中学生、高校生、さらには若者世代、18歳から29歳以下を対象に募集し、243件の応募があった。(小学生が3、中学生が238、高校生が2)

周知方法

SNSを活用したり、LINEで「流山子育てチャネル」という情報発信の仕組みの活用、市内の高校や大学、専門学校にポスターの掲示、主要駅にもポスター掲示をしたが、多くの応募には至らなかったという状況だった。

募集した意見の内容

中学生が多かったので、学校に関する内容が多く見られ、その他にも、経済的支援に関する内容、町づくり、流山もこういった町にしたいんじゃないかというご提案、あと遊び場とか居場所とかに関連するご意見があった。

検証と直接声を吸い上げる仕組みづくりの検討

意見をしっかりと検証することと、今後、若者の声を直接吸い上げるような仕組みの検討が必要です。例えばその若者の居場所の拠点作りを進めていこうとか、ユースモニター制度など他の自治体で展開例を参考に。また、計画を作るためだけでなく、具体的な事業や施策を作る上でも定期的に声を吸い上げていきたい。

243人の子ども・若者へのフィードバック

243件の意見を、庁内の関係部署と内容を共有し、流山市の「子ども計画」の作成過程において、事業・施策に反映できるかなどの検討や見直しを各部署に促していく。その検討の結果、可能なものは、施策に反映をし、令和7年度以降の予算に計上する、もしくはその計画を文書等に記載して公開するというフィードバックをしていく。



流山市子ども会議の開催

昨年の11月から今年の2月まで全4回開催をし、3月16日に市長と教育長も出席をした報告会を開催した。提案テーマとして、①相談出来る場所や人について、②自然環境や通学路などについて、③校則や制服についての3つの提案テーマに沿って、それぞれ3つのグループに分かれて色々議論していただいた。その3つのテーマに関する市の現状がどうなっているか、それで課題は何か、具体的な解決策はこういうものだ、それぞれ各グループでパワーポイントの資料に落とし込んでもらって、予備原稿も作ってもらい、市長、教育長の前で報告、提案をしてもらった。30名の募集で、実際に手を挙げてくれたのは、小学5、6年生が3人と中学生が9人で高校生が3人で15名。市内の江戸川大学の学生さんたちにサポーターとして入ってもらった。

★明らかになった行政課題：子ども・若者の声を聴く恒常的な仕組みづくり★

非常に発想豊かな子どもたちであり、一過性に終わらず、今後は恒常的に子どもの声とか意見を聞けるような仕組みを作っていく必要があり、それを計画等しっかりと位置づけていこうと考えている。





こども家庭庁の動き 少子化対策 政府「こどもまんなか実行計画」を決定

■2024年5月31日 政府は、今年度に取り組むこども関連政策の詳細を示す「こどもまんなか実行計画」を決定しました。幅広いこども関連の施策を網羅した実行計画を定めるのは初めてです。この実行計画には、少子化対策のための児童手当の拡充などを盛り込んだ総額3兆6000億円で実施する「加速化プラン」のほか、こどもの貧困対策、こども・若者の自殺対策など幅広い施策が盛り込まれ、どの省庁が担当するか明記されています。

■2024年6月5日 「支援金制度」の創設を盛り込んだ、子ども・子育て支援法などの改正法が、参議院本会議で賛成多数で可決・成立しました。改正法は、児童手当の所得制限を、今年12月の支給分から撤廃し、対象を18歳まで広げるのに加え、働いていなくても子どもを保育園などに預けられる「こども誰でも通園制度」の導入や、育児休業給付の拡充などが盛り込まれています。財源を確保するため、公的医療保険に上乗せして国民や企業から集める「支援金制度」を創設し、2026年度から段階的に運用を始めるとしています。（一部WEB情報引用）

2024年5月発表 日本の合計特殊出生率 1.20 で最低、出生数は前年比 5.6%減の 727,277 人

厚生労働省は2023年度の人口動態統計を発表し、合計特殊出生率は、1.20で過去最低を更新した。地域別では東京都が最も低く0.99、埼玉、神奈川、千葉の首都圏3県はいずれも1.01にとどまった。全国47都道府県で前年度を下回った。未婚化や晩婚化、教育等経済的負担等、様々な要因が影響している。

日本の出生数は前年比5.6%減の727,277人で、子育て支援の先進例ともされる国でも少子化はすすむ。フィンランドは2023年度過去最低の1.26、10年前2.03まで持ち直していたフランスでも1.26と、第2次世界大戦後最低水準だった。先進国でも、公的な金銭的支援を増やしても出生率の改善には限界がある。

東アジアの少子化は日本以上に深刻。韓国は2023年度出生率は0.87、シンガポールで0.97、台湾も0.87となっている。給付中心の政策を転換して改善傾向にあるのがドイツ。働き方改革をすすめ、子どもと両親が一緒に過ごす時間が、1.5倍から2倍に増えた。2022年の出生率は1.46と長期的に上向いている。（一部WEB情報引用）

2024年3月 国連総会で毎年6月11日が「国際遊びの日」に

2024年3月25日、国連総会にて国連加盟6か国からの提案により、「国際遊びの日（International Day of Play）」の制定が採択されました。これから、毎年、6月11日は「国際遊びの日」となります。ぜひ、みなさんもこの日を一緒にお祝いし、遊ぶことの大切さを社会に普及していきましょう。

2024年度54市町村行政訪問での働きかけ

「こども基本法」に謳われた子どものウェルビーイング推進のために、NPOとしても市町村行政に積極的に協力し、関わっていききたいと思います。県・市町村で策定する「こども計画」施策の実効のために、行政に活用していただきたい事業企画提案をします。以下、「こども基本法」の冒頭の条文に記された重要性、法的な位置をしっかりと意識し、8月からの54市町村行政訪問でNPOとの連携をはたらきかけていきます。

★「こども基本法」が目指す「こどもまんなか社会」の条文の冒頭に

「全てのこども・若者が、日本国憲法、こども基本法及び こどもの権利条約の精神にのっとり」とあります。

「こども」のことを考える時に、拠って立つ「根拠・柱」が法律によって定まり、国・地方自治体・NPO・国民のすべてが共通の土台として共有し、決定や判断をしていくことになります。大人社会が大いに試され、本気度が問われることにもなります。行政にとっても、行政との連携を望んでいるNPOにとっても、この法律の条文をゆるぎない「共通理念」として尊重し合うならば、相互の解釈や変え方の齟齬は減り、子ども施策策定や、子ども生活文化環境を改善し変えていく大きな力となります。相互に意識を変え、そうしていかなければなりません。

★日本国憲法 子ども基本法 こどもの権利条約等の、法的な位置

こども基本法は上位法

日本国憲法
こどもの権利条約
こども基本法
内閣府 厚生労働省 文部科学省 法務省の各法律

こども基本法は、子どもの権利に関する包括的法律であり、関係省庁の子ども政策に通底する基本原則（基本方針）を明記したものです。教育基本法や児童福祉法等、各省庁の法律よりも上位の位置にあります。



赤い羽根共同募金「テーマ選択募金」では、寄付者の皆さまが様々な地域課題に対し、特に応援したい活動を選んで寄付し、その寄付額が団体への助成額に直接反映される取り組みです。「傾聴のラインを知らせる広報事業」として、子ども劇場千葉県センターの「チャイルドライン千葉」と「ママパパラインちば」の傾聴事業が選ばれました。心より感謝いたします。アドカードカード配布等は、当事者の手元に直接届く周知として大切に取り組んで参ります。

皆様の温かい募金とご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします
募金受付期間：2024年10月1日から2025年3月31日



「傾聴のラインを知らせる広報事業」



- 1 チャイルドラインフリーダイヤル（0120-99-7777）番号および、チャットの QR コードを明示したアドカード 179,000 枚とポスター500 枚を広報手段として作成する。
- 2 アドカードは千葉県内教育委員会を通じて、児童生徒 60 万人のうち、小学校 4, 5, 6 年生に 179,000 枚を配布し、ポスターは小学校 748 校のうち、500 校を抽出し配布する。
- 3 私立学校協会の協力を得て、私立小学校 10 校へアドカードを 4,602 枚配布する。

- 1 「ママパパラインちば（電話番号 043-204-9390）」の情報が当事者に届くようアドカードを 160,000 枚作成する。
- 2 県内 54 市町村の子育て支援課を通じて、保育園 幼稚園 子育て支援施設、保健センター、親子の居場所等で配布。また教育委員会を通じて、全校児童または 1 年生の家庭に配布する。
- 3 千葉県小児科医会、千葉県歯科医師会、県社会福祉協議会の協力を得て地域の小児科医院、歯科医院、54 市社会福祉協議会へ配布依頼する。

18歳までの専用通話
うれしいことも、かなしいことも、なんでもはなしていんだ！

チャットをする
毎月第1・3月
毎週火・水・木・金・土
16時～21時

電話をかける
0120-99-7777
通話無料
まいにち
16時～21時

ネットでんわではなす
アプリをダウンロード
*Wi-Fiをおすすめします
App Store Google Play

チャイルドライン千葉

主催：NPO法人 子ども劇場千葉県センター
後援：千葉県教育委員会 千葉市教育委員会
このカードは赤い羽根共同募金の助成により作成されています。

チャイルドライン千葉 アドカード

あなたをひとりにしない・させない「ママパパライン」

「ママパパラインちば」

子どもをもつママ・パパ・家庭の子育ての悩みや不安な気持ちを電話でお聴きします。なまえ・住所などはおききしません。安心してゆっくりおはなしください。電話だからこそ何でも告げる。気軽にダイヤルを！

043-204-9390
毎週全曜日 10:00～16:00
キャンペーン：2025年2月3日(月)～2月8日(土)
6日間毎日 10:00～16:00

ママパパラインちば アドカード

<子どもの声を聴く チャイルドライン千葉>

チャイルドラインにつながる子どもたちの動機は「話を聴いてほしい」が一番多くなっています。届く声には、死にたい、消えたいなどの希死念慮や、学校での友人関係、家族関係での悩みや葛藤、生きづらさや無力感を訴え、つらい・苦しい・不安・イヤだ・さみしいという切実な思いがあります。一度の対話で解決には至りませんが、気持ちを吐き出し、受けとめてもらえたと感じられることで、気持ちが少し軽くなり、自ら一歩を踏み出す力を持てます。子どもの人権が守られるよう、話したいことを話せる場所、気持ちに寄り添って聴いてもらえる安心安全な場所があることを、子どもたち一人一人に知らせたいと願っています。

<養育者の声を聴く ママパパラインちば>

ママパパラインには、孤立した子育てによりイライラや怒り、爆発寸前の気持ちや、不安な社会背景で起きる複雑で容易に解決できない問題を、誰にも相談できずに一人で抱え、苦しんでいる声が届きます。父親から育児参加での悩みや苦しさなどの話も聞かれます。声からは誰にも言えない思いや愚痴を聴いてほしい、吐き出した、受けとめてほしいという思いが伝わります。愚痴やネガティブな気持ちも、否定されずに聴いてもらい、受けとめてもらうことで、解決への力を取り戻すことができ、虐待の未然防止にもつながります。プライバシーが守られ安心して話せ、聴いてもらえる場所があることを、より多くの養育者や家庭に届けたいと願っています。

「自分で決めて良い」「人と違って良い」 が保障された 子どもの居場所「フリースクールネモ」

フリースクールネモ市川 スタッフ代表 松島裕之

開設日・時間：毎週 月・水・木・金 曜日 10時から16時、学習サポートは16時30分～18時
7歳から17歳までのメンバーが8～10名参加



フリースクールネモは、習志野市、市川市の二拠点で活動する
不登校の子どものための居場所です。

★★★「ネモ」の一日はこんなふうです★★★

ネモ市川には14人のメンバーが在籍、フリースクールに来る・来ないは本人が自由に決めてよい仕組みなので、一日あたりの来室人数は8～10名程度。

来て何をするかも自分で決めて良い場所です。みんながやっているゲームだから自分もやってみようとか、親と話し合い、学習サポートの時間だけは勉強を頑張ろうとか。

夕方16時30分からはフリースクールメンバーが帰宅した後の学習サポートの時間、現在は昼間のフリースクールと併用しつつ学習支援を受けているメンバーが2名、それぞれの進路に進みつつ、進学先での勉強でわからない所を聞きにきたり、勉強の進め方の相談をするために残っているメンバーが3名在籍しています。

★★★何歳の時に入ってきて何歳の時に

旅立っていくのかは人それぞれ★★★

高校進学タイミングで退会をする人がやや多いですが、在籍している小・中学校に戻るために退会する人もいれば、通信制などの高校と併用でフリースクールに通い続けたり、中学を卒業してから入会して、必要な分だけフリースクールに通い続ける人もいます。

また、退会した後でもOBOGとして定期的に息抜きをしに来る人もいれば、スパッと区切りをつける人、前述のように学習サポートには残る人など、その後の関わり方も様々です。

★★★共通点は、最初の1,2年がフリースクールが安心で楽しい「居場所」だったこと そこから「自分で決めて」歩んでいける★★★

夕方の学習サポートを利用したメンバーも、昼間の何をしても良い、何もしなくても良い」時間は、勉強や進路の悩みから離れ、仲間との時間を楽しんでくれた事です。フリースクールネモは、その日この場に来る、来ないも自由に決めてよいし、来て何をするかも自分で決めて良い場所です。高校進学だって、「そういうもの」として受け止めているとか、全く他人（や「社会」）の影響を受けずに生きているわけではありません。だけど「自分で決めて良い」「人と違って良い」という事が保障された環境の中で、時には一人で、時にはスタッフと一緒に、そして時には周りのメンバーと互いに影響を与えあいながら、ゆっくりとそれぞれの道を歩んでいきます。

★★★時にぶつかり合っても仲間は仲間！★★★

フリースクールメンバーたちには、アルバイトや学校等の息抜きの場としてここを利用している人もいれば、家族以外の他者と過ごすことをまずは頑張っている人、仲間とのコミュニケーションや活動を思い切り楽しんでいる人など様々な人がいます。

時にはメンバー同士がぶつかり合うこともあります。でも、お互いに「こうしたい！」という気持ちが出てきたからこそその事。互いの人格を尊重しながらならば、時にはぶつかり合うことも大切な経験だし、成長のあかしだと思い、見守っています。「これを学びなさい」なんてことをわざわざ言わなくても（言わないからこそ）、安心して過ごすことができ、それぞれのタイミングで学び・育つことができる、そんな安心感と「自由」な場だからこそその悩みや学びがある、フリースクールネモはそんな居場所です。



みんなでゲーム



お菓子づくり



「好きなアニメは何？」でおしゃべり

※写真は団体・個人共了承のもと掲載

編集後記：住宅地の朝、降りしきる雨の中、傘を斜めにさして一生懸命通学する一年生に「行ってらっしゃい！」と声をかける。晴れてきた！友達と手をつなぎ、行列で散歩する保育園児から口々に「こんにちは！」と声をかけられる。人形劇のフィナーレ。役者さんの「何か質問ある？」に、最前列の子たちが「ハイハイ！」と手を挙げ「あれ？どうなってるんですか～？」と大人も訊いてみたい質問をしてくれる。自ら育つちからをもって生まれてきた子どもたち、頼もしい！何だかおとなの私が元気をもらっている。（岡田記）





- 県内の子ども劇場の鑑賞会で観たい作品がありましたら直接その団体にお問い合わせください。
- 下見等については千葉県内の申し合わせ
 - ・役員の下見は5名まで無料
 - ・その子どもは1人1,000円
 - ・その他は1人2,000円
(子ども、おとな同額)

第106号別冊 <2024年8月～11月>

舞台劇

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
◇ 劇団うりんこ	かえるのそらとぶけんきゅうじょ	9/29	13:45	もりんぴあこうづ	成田	3歳～大人

人形劇・影絵劇

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
☆ 人形劇団ひとみ座	9月0日大冒険	10/27	15:00	八千代市市民会館大ホール	八千代	3歳～大人
☆ よろず劇場とんがらし	よい子の味方怪獣ママゴン	11/17	11:00 予定	穴川コミュニティセンター多目的室	千葉北・中央	幼児
☆ ホケキョ影絵芝居	砂影じいいの昔話	11/24	14:00	印西市そうふけ公民館	いんざい	3歳～大人

音楽

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
♪ サウンドポケット	ピアノカの魔術師	9/16	18:00	プラッツ習志野市民ホール	ならしの	小学生～大人
♪ 川元真里 & 加形裕子	S・T・A～至福の時をあなたと～	9/23	15:00	市川市グリーンスタジオ	市川北	小学生～大人
♪ kajii	食器は歌う	9/28	14:00	スターツおおたかの森ホール	流山	幼児～大人
♪ オペラシアターこんにやく座	オペラ「ルドルフとイツパイアツテナ」	10/27	13:30	千葉県教育会館大ホール	千葉中央	年少児～大人
♪ オペラシアターこんにやく座	オペラ「ルドルフとイツパイアツテナ」	11/1	18:30	市川市文化会館小ホール	市川	幼児～大人

芸能・他

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
◎ チィキィ＊パークウ	Witty Look of the Life's a CIRCUS!!!!	10/5	18:00	全日警ホール	市川中央	幼児～大人
◎ ラストラダカンパニー	サーカスの灯	11/30	未定	もりんぴあこうづ	成田	3歳～大人
◎ NPO法人eco体験工房	らんま先生のEcoサイエンスステージ	11/30	14:00	四街道市文化センター大ホール	四街道	幼児～大人

団体名	Tel.	団体名	Tel.
● NPO法人 茨山おやこ劇場	04-7152-0446	● みはま舞台芸術を楽しむ会～子どもから大人まで～	080-1138-1635
● NPO法人 市川子ども文化ステーション	047-395-7670	● NPO法人 こどもユニットWakaba	043-232-0045
● NPO法人 市川子ども文化ステーション中央地区	047-332-3024	● 千葉北おやこみるあそび会	043-250-4120
● NPO法人 市川子ども文化ステーション北地区	047-339-7744	● NPO法人 緑区子どもサポートセンター	043-377-8490
● NPO法人 市川子ども文化ステーション行徳地区	047-395-7670	● NPO法人 千葉中央おやこ劇場	043-251-0142
● 清安子ども劇場	080-6651-9175	● NPO法人 四街道こどもネットワーク	043-423-5381
● NPO法人 影塚子ども劇場	047-424-0851	● やちまたおやこ劇場	043-442-0084
● NPO法人 ならしの子ども劇場	047-451-3676	● NPO法人 子ども一歩だけ歩	0438-63-2850
● 白井子ども劇場	047-491-2163	● NPO法人 いちかわ市民文化ネットワーク	047-711-8813
● NPO法人 NPO在習こどもステーション	043-487-1655	● NPO法人 子育てネットワークゆっくつく	04-7129-8089
● NPO法人 子どもネット八千代	047-486-4699	● 千葉親子とも格闘	047-457-2065
● NPO法人 いんざい子ども劇場	0476-46-6287	● NPO法人 子ども劇場千葉県センター	043-301-7262
● NPO法人 子どもプラザ成田	0476-29-1387		

	活動	日程	場所	主催団体
いろいろ 体験活動	▪ 放課後子ども教室 出会い体験夢ひろば	8/2.7.9.21.23.28	四街道四区集会所	四街道
	▪ おやこキャンプ	8/3～5	奥多摩百軒茶屋キャンプ場	市川行徳
	▪ 遊んで 食べて 感じる わくわくキャンプ！	8/4～6	奥多摩中茶屋キャンプ場	市川中央
	▪ みんなあつまれ！夕涼み会	8/17	行徳駅前公園研修室	市川行徳
	▪ サンサンゴーゴーあそぼうズ 室内遊び	8/18	こどもユニットWakabaはらっぱ	Wakaba
	▪ わんぱくすまいる夏まつり	8/24	流山市生涯学習センター	流山
	▪ デイキャンプ	8/31	浦安市少年の広場	浦安
	▪ 放課後子ども教室 出会い体験夢ひろば	9/4.6.11.1318.20.25	四街道四区集会所	四街道
	▪ 夏のデイキャンプ	9/8	船橋市青少年キャンプ場	船橋
	▪ 子ども縁日	9/8	印西市そうふけ公民館	いんざい
	▪ サンサンゴーゴーあそぼうズ 未定	9/15	こどもユニットWakabaはらっぱ	Wakaba
	▪ きみだけの特別な1日INガキ森	9/16	八千代市ガキ大将の森キャンプ場	八千代
	▪ ちびっこパンや	9/21,10/19,11/16	JR西千葉駅前ふくろう広場	千葉中央
	▪ ピザがまの森栗ひろい	9/23	印西市ピザがまの森	いんざい
	▪ 子どもがつくるまち ミニ☆いちかわ	9/28.29	千葉県立現代産業科学館	市川中央
	▪ 放課後子ども教室 出会い体験夢ひろば	10/2.4.9.11.16.18.23	四街道四区集会所	四街道
	▪ 子どもがつくるまち ミニいちかわ2024	10/12.13	行徳駅前公園	市川行徳
	▪ サンサンゴーゴーあそぼうズ 忍者&チャンバラごっこ	10/20	こどもユニットWakabaはらっぱ	Wakaba
	▪ みんなで砂絵アート	10/26	印西市そうふけ公民館	いんざい
	▪ 放課後子ども教室 出会い体験夢ひろば	11/1.6.8.13.15.22	四街道四区集会所	四街道
	▪ 子どもの田んぼ 稲刈り	11/3	印西市本埜地区谷津	いんざい
	▪ 子どもがつくる子どものまち ならしのこまち	11/4	谷津奏の杜公園(予定)	ならしの
	▪ 放課後子ども教室 休日体験	11/16	四街道市屋根付き運動場	四街道
	▪ アフターデイキャンプ	11/17	江戸川河川敷	市川中央
	▪ サンサンゴーゴーあそぼうズ 木アート	11/17	こどもユニットWakabaはらっぱ	Wakaba
	▪ 子どもの創造表現フェスティバル2024	11/24	八千代市市民会館大ホール	八千代
高学年の活動	▪ 子どもの体験 夏のキャンプ2024	8/9～11	千葉県立君津亀山自然の家	八千代
	▪ 第36回子どもキャンプ	8/10～13	中津川村キャンプ場	流山
	▪ 高学年キャンプ	8/12～14	奥多摩百軒茶屋キャンプ場	市川行徳
講演会・学習会 ワークショップ	▪ ろっくそーらんワークショップ	8/10.17.22	佐倉市立間野台小学校体育館	佐倉
	▪ 晴琉屋フンさんと牛乳パック人形を作ってみよう！	8/24	印西市そうふけ公民館視聴覚室	いんざい
	▪ みんなで人形劇～観て 作って 動かそう	8/31	人形劇団ひとみ座第1スタジオ	八千代
	▪ つぶやきりんご～子どものことばと子育てトークの会	9/5,10/3,11/7	流山おやこ劇場事務所みんなのおうち	流山

きらきらわくわく情報

2024年8月～11月

活動	日程	場所	主催団体	乳幼児の活動
子ども一ぶ袖ヶ浦のおやこ文庫 わつくぶつく	8/7,23,9/6,18,10/2,18,11/1,20	子ども一ぶ袖ヶ浦事務所	袖ヶ浦	
おしゃべりほっとスペースびよびよひろば(0歳～)	8/8,9/11,10/10,11/14	鬼越鬼高地域ふれあい館	市川中央	
乳幼児のママたちのヨガサークル リラックスココヨガ	8/9,9/6,14,10/4,26,11/1,9	市川市内	市川北	
乳幼児おやこサークル ぴよんぴよんキッズ	8/22,9/12,26,10/10,24,11/7,21	信篤公民館	市川中央	
みんなで子育て！ぼこぼこカフェ(0歳～)	8/22,9/19,10/17,11/21	市川市南八幡3丁目自治会館	市川中央	
おしゃべりほっとスペースきらきらひろば(1歳～)	8/23,9/13,27,10/11,25,11/8,22	信篤公民館	市川中央	
おやこサークル☆プレンジ	8/23,9/13,27,10/11,25,11/8,22	市川市内	市川北	
お母さんのティータイムこーひーかつぶ	8/26,9/9,10/28,11/11,25	市川市内	市川北	
0～1歳半くらいの子どものお母さんがほっとする はっぴいスペース	8/29,9/12,26,10/10,31,11/14,28	稲毛区小中台地域福祉交流館	千葉北	
2歳～小2くらいの子どもの保護者の活動 どうぶにあそぼう	8/31,9/21,10/26,11/16	市川市内	市川北	
絵本とあそびのひろば わくわくキッズ(1歳～)	9/3,10/1,11/5	市川市勤労福祉センター	市川中央	
わらべうた・手遊び歌、0歳からのリトミック～ゆったりりんりん	9/4,10/30	長浦交流センター多目的室	袖ヶ浦	
1～3歳くらいの親子ふれあい体験遊び アクティブキッズ	9/5,19,10/3,17,11/7,21	稲毛区小中台地域福祉交流館他	千葉北	
おやこサークル☆クレヨンクラブ	9/10,24,10/15,29,11/12,26	行徳駅前公園研修室予定	市川行徳	
0～3歳児親子の居場所	9/10,24,10/8,22,11/12,26	千葉中央おやこ劇場事務所	千葉中央	
乳幼児とお母さんのための遊びの場びっぴ	9/12,26,10/10,24,11/14,28	神納コミュニティセンター他	袖ヶ浦	
1～3歳児親子の遊び体験活動	9/19,10/3,24,11/14,21	千葉市子ども交流館アリーナ	千葉中央	
0～1歳児親子のあそび広場 Littleこねっと	9/30,10/30,11/29	大和田公民館	八千代	
子育て応援メッセ2024inふなばし	10/20	船橋市中央公民館	船橋	
子育て広場 はっぱのおうちwithおそと	毎週火・木	こどもユニットWakaba事務所	Wakaba	

団体正会員と子ども劇場千葉県センター主催「舞台芸術・芸術体験企画への参加状況」データ
期間：2024/3月～6月 参加団体：11団体 企画数：17 参加者合計：2,490人

イベントの種類	企画数	子ども参加数	おとな参加数
プロによる舞台鑑賞	13	693人	1,383人
地域連携による舞台鑑賞	1	10人	227人
地域講師による舞台鑑賞	1	40人	54人
プロによる体験ワークショップ	2	47人	36人
合計	17	790人	1,700人

入力フォーム



<https://goo.gl/nkYxeS>

◆2024年度、入力フォームの「イベントの種類」の選択肢を改定し、「地域連携による舞台鑑賞」「地域連携による体験ワークショップ」を加えました。
花咲かせプロジェクトのように実行委員会を組んで、又、文化ホールや行政、民間団体等に企画提供し、協力して実施する「連携とネットワーク」の事業を“見える化”する目的です。
◆入力フォームに書かれた「とりくみ方」に関するコメント
・文化ホールとの共催により、広報が拡がり、取材を受け、経費が減免されるなど成果があった。
・会員有志によるリーディングユニットの舞台で、初めて舞台に出会った子どもたちが楽しんだ。
・人形劇を、会員の発案で、その地域のより多くの子どもたちに届けるために地域公演で実施した。当日参加も多く、好評だった。

子どもと文化 イベント情報

◆ 出前で届ける子どものあそび ＊アート＊交流体験2024

①8月7日(水)北志津児童センター(こま・けん玉)
②8月22日(木)根木内こども館(ダンス)
③8月23日(金)相之川こども館(こま・けん玉)
④8月29日(木)新高根児童ホーム(表現遊び)
⑤11月17日(日)野菊野こども館(表現遊び)
対象：4歳～小学生、保護者 参加費：無料
主催/(特)子ども劇場千葉県センター043-301-7262

◆ 遊んで 食べて 感じる ワクワク！低高合同キャンプ！

8月4日(日)～6日(火)奥多摩中茶屋キャンプ場
対象：幼児親子、小学生親子、中高生、青年、大人
幼児(4～6)8,000円、小中高生10,000円、大人20,000円
主催/(特)市川子ども文化ステーション中央地区
Tel.047-332-3024

◆ 子ども一歩のわくわくコンサート ～バイオリン・サクソ・チェロの 親子で楽しめるコンサート♪～

8月4日(日)10:30～11:20
場所：昭和交流センター中ホール
対象：赤ちゃん～大人
参加費：大人800円 子ども200円
主催/(特)子ども一歩袖ヶ浦
Tel.0438-63-2850

◆ ろっくそーらんワークショップ

初めてソーランを踊る子どものための
ワークショップ。保護者も一緒に練習
して地域のお祭りで踊りましょう！
8月10(土)17(土)22(木)10:00～12:00
場所：佐倉市立間野台小学校校体育館
対象：一緒に夏祭りで踊りたい人 参加費無料
主催/(特)NPO佐倉こどもステーション
Tel.090-3599-1771(徳永)

◆ 晴琉屋フンさんと

牛乳パック人形を作ってみよう
11月鑑賞「砂影じじいの昔話」を
より楽しむためのワークショップ
8月24日(土)10:00～12:30/13:30～16:00
場所：印西市そうふけ公民館視聴覚室
対象：幼児・小学生(親子参加可)※カッター使います
参加費：子ども1,200円/要事前予約
主催/(特)いんざい子ども劇場
Tel.0476-46-6287

◆ わんぱく広場

自分の責任で自由に遊ぶ一日プレーパーク
①8月25日(日)雨天中止
10:00～15:00 東海面公園
②11月3日(日祝)雨天の場合4日
10:00～15:00 行徳南部公園
対象：どなたでも 参加費無料
主催/市川わんぱく広場実行委員会
問合せ/047-395-7670

◆ 子どもも大人も楽しめるコンサート 「S・T・A～至福の時をあなたと～」

川元真里さんピアノ/加形裕子さん歌
金子みすゞの世界、ジブリクラシックメドレー他
9月23日(月祝)15:00～16:00
場所：市川市グリーンスタジオ
対象：小学生～大人
参加費：4歳以上1,500円
主催/(特)市川子ども文化ステーション北地区
Tel.04-339-7744

◆ kajiiの日用品楽器コンサート 「食器は歌う」

身の回りにあるものが楽しい楽器に大変身！
終演後 手作り楽器体験ワークショップあり
9月28日(土)14:00～15:00
場所：スターツおおたかの森ホール
対象：幼児～大人
参加費：子ども(3歳～18歳)1,500円
大人2,000円、シニア(65歳以上)
主催/(特)流山おやこ劇場
Tel.04-7161-3032

◆ 子どもがつくるまち ミニ☆いちかわ2024

9月28日(土)29日(日)
場所：千葉県立現代産業科学館
対象：小学生～18歳
材料費：500円(1日につき)
主催/(特)市川子ども文化ステーション中央地区
Tel.047-332-3024

◆ WittyLookの「Life's a CIRCUS!!!!」

一輪車のスゴ技！チキキ＊パークウ
の爆笑ジェットコースターサーカス!!
10月5日(土)18:00開演
場所：全日警ホール
対象：幼児～大人 参加費未定
主催/(特)市川子ども文化ステーション中央地区
Tel.047-332-3024

◆ 子どもがつくるまち ミニ☆いちかわ2024

10月12日(土)10:00～15:30
10月13日(日)10:00～15:00
行徳駅前公園 小学生～18歳対象
材料費：500円(2日間有効)
主催/(特)市川子ども文化ステーション
主催/047-395-7670

◆ 「びりとブッチーの おもしろクラウンショー」

蒼い企画。花咲かせプロジェクトで
開催し小学生は無料
10月19日11:00開演 小学生対象
場所：流山市立新川小学校校体育館
主催/ながれやま北部子育てネット
問合せ/04-7161-3032

◆ 人形劇団ひとみ座 「9月0日大冒険」

子どもも大人もわくわくドキドキの大冒険！
10月27日(日)15:00開演
場所：八千代市市民会館大ホール
対象：3歳～大人
参加費：大人3,000円 18歳以下2,000円
主催/(特)子どもネット八千代
Tel.047-486-4699

◆ オペラシアターこんにゃく座 「ルドルフとイッパイアッテナ」

猫たちの知恵と勇気と友情の冒険物語。
信長貴富さん作曲、こんにゃく座の新作オペラ
10月27日(日)13:30開演
場所：千葉県教育会館大ホール
対象：年少児～大人
参加費：大人2,500円 子ども1,200円
主催/(特)千葉中央おやこ劇場
Tel.043-251-0142

◆ オペラシアターこんにゃく座 「ルドルフとイッパイアッテナ」

斉藤洋さんの児童文学作品のオペラ化！
11月1日(金)18:30開演 幼児～大人
市川市文化会館小ホール 参加費未定
主催/(特)市川子ども文化ステーション
Tel.047-332-3024

◆ 子どもがつくる子どものまち ならしのこまち

11月4日(月祝)10:00～15:00
場所：谷津奏の杜公園予定
対象：小学生 参加費未定
主催/(特)ならしの子ども劇場
Tel.070-6556-8762

◆ 放課後子ども教室休日体験

公園で見つけた秋のリースやランタンを
作ったり、秋を感じる本を読みます
11月16日(土)四街道市屋根付き運動場
対象：幼児～大人 参加費未定
主催/(特)四街道こどもネットワーク
Tel.043-423-5381

◆ 八千代市市民文化祭＊子どもの 創造表現フェスティバル2024

子どもによる子どものための文化祭
11月24日(日)13:30～16:00
場所：八千代市市民会館大ホール
対象：出演者/18歳までの子ども。
制作スタッフ/小学5年生～18歳
参加費：出演者800円
子ども制作スタッフ1,500円
主催/(特)子どもネット八千代
Tel.047-486-4699

※(特)は特定非営利活動法人を略しています。
※参加申込、場所、参加費、時間等の問合せは
各主催団体をお願いします。